

## 2018年度SGH講演会・意見交換会①

6月19日(火)から21日(木)まで、医療・平和・水の各班で大学の先生方から講演をいただき、研究テーマの設定や研究の進め方についてのアドバイスをいただきました。6月19日(火)の講演会は、次の2つです。

### ① 水班：工学部

水班は長崎大学工学部の板山朋聡教授をお招きし、「水環境の富栄養化と対策(日本と世界)」というテーマで講演会・意見交換会を行いました。講演会では、私たちの生活に水はいかに必要なものか、身近な長崎からアフリカまで様々な地域における水環境の問題点や対策などについてわかりやすく説明していただきました。感想として、安全な水を使用できない人達が世界中に大勢いることに対する驚きを書いている生徒や日本で暮らせている幸せを感じる生徒が見受けられたと同時に、自分たちの研究で少しでも安全な水を世界中に届けたいと書いている生徒がおり、研究に対する意欲が高まったようでした。講演後も生徒は自らの課題研究についての疑問点を質問するなど、充実した講演会・意見交換会になりました。



### ② 医療班：熱帯医学研究所(大学院生による出張講義)

医療班の代表生徒50名は、熱帯医学研究所の大学院生による出張授業を受講しました。長崎大学の大学院生から「日本やアジアにおける感染症」に関するプレゼンテーションを聞き、その後、留学生1人につき生徒7~8名のグループに分かれて、ディスカッションを通してプレゼンテーションの内容理解を深めました。ディスカッションでは、生徒たちが発言しやすいようにクイズ形式を取り入れたり、理解しやすいように身振りを交えて説明をしていただいたりしたので、感染症を身近なものとして感じ取ることができました。今回の出張講義を受けた生徒は、「留学生と内容豊かな会話ができるよう英語をもっと勉強していきたい」「日本とアジアの医療環境の違いやその改善の難しさを知った」など、これからの学習に向けて刺激を受けたようでした。

